



家庭教育通信



令和3(2021)年度
足利市教育委員会 生涯学習課
0284-43-1311

家庭は教育の原点であり、家庭教育はすべての教育の出発点です。子どもたちは、家族と温かい関わりや様々な体験をとおして、多くのことを学び、夢をもち、たくましく成長します。家庭教育をサポートする『家庭教育ここがポイント! あいうえお』を紹介します。

あたたかい 家族のふれあい コミュニケーション

*家族で言葉のキャッチボール

会話はコミュニケーションの基本。親子で語り合う機会をたくさんつくりましょう。

*家庭は『ほっ』とできるやすらぎの場所

家庭は子どもの心のよりどころ。子どもの気持ちに寄り添い、顔を見ながら最後まで話を聴きましょう。

*親子で語らう夢・希望

将来の夢の実現や生き方を一緒に話したり、親自身の経験を語ったりしましょう。



いろいろ体験 地域で学ぼう

*五感を使った直接体験とふれあい

地域や公民館行事等の様々な体験活動をとおして、社会のルールやマナーを知るとともに「命を尊重する心」「自然を大切に作る心」「感謝の心」「ふるさとを愛する心」などが育まれます。また、いろいろな年代の人と一緒に活動する中で様々な考え方や価値観に出会い、豊かな心や社会性を身につけていきます。親子で一緒に参加して、地域の方との交流を楽しみましょう。



うれしい、楽しいを感じるメッセージで自尊感情を育てよう

*子どものよさを認め、ほめよう 「愛してる」のメッセージ

「自分のことが好き」「自分は大切な存在」などのように、一人しかいない自分をかけがえのない存在と認め、長所も短所も含めて自分を大切に作る気持ちを『自尊感情』といいます。親から認められている、愛されていると感じることにより自尊感情が育ち、物事に積極的に取り組み、頑張ることができます。

笑顔で過ごす毎日 基本的な生活習慣

*あいさつは、「魔法の言葉」

あいさつ一言で、心が通い、相手との距離が縮まります。

*一日の生活は、リズムよく有意義に

「早寝早起き朝ごはん」を心がけ、一日のスタートを気持ちよく始めましょう。

*親は子どもの手本

家庭での約束事やルールを子どもと話し合っつくり親子で守っていく中で、ルールの大切さや必要性を伝えましょう。



親自身も子育てについて楽しく学ぼう!

*研修会や講演会

県やPTA、市などが主催する様々な研修会や講演会に参加し、子育てに活かしましょう。

*家庭教育出前講座

子育てについての悩み・不安の解消や保護者同士の仲間づくりなどの支援をしていくために、学校や幼稚園、保育所等に出向いて、家庭教育に関する講座を実施します。

★問合せ★足利市教育委員会生涯学習課社会教育担当 Tel: 43-1312

出典・参考「家庭教育手帳」文部科学省



【学校・家庭教育相談室(足利市教育委員会)】

〈教育相談〉

生涯学習センター 1階西側 ☎ 0284-42-8884

○不登校やいじめなど、様々な課題に対する児童、教職員を対象とした相談

○育児、しつけ、家庭生活、学校生活、子どもの非行など子育ての悩みに対する保護者等を対象とした相談

○友達や学校に関することなど青少年を対象とした相談

【相談日】月曜日～金曜日（祝休日、年末年始を除く） 【時間】午前9時～午後5時

〈適応指導〉

○不登校傾向などの児童生徒への学習支援や体験活動等の実施

【活動日】月曜日～金曜日（祝休日、年末年始を除く） 【時間】午前9時～午後4時



本市の児童生徒たちが様々な社会変化を乗り越え、人生を切り拓き、社会の創り手となるよう、「足利学校のあるまち足利」にふさわしい目指すべき子ども像、そのための求められる学校像を教育理念として令和元(2019)年12月に決めました。あわせて、それらを具現化するために検討すべき学校教育環境を決めました。



子ども達に今後求められる力とは

本編 1P

- ・自立した人間として、主体的に判断する
- ・多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する
- ・自分のよさや可能性を認識する
- ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働する
- ・様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる
- ・どのような社会にあっても、生涯にわたって学ぼうとする意欲と自ら未来を切り拓き、社会の変化に主体的に対応できる

国が示す方針や足利市の実態から、求められる力を検討しました

教育基本法

足利学校の
自学自習の精神

学習指導要領

足利市の
教育目標第3期教育
振興基本計画本市の
子どもの実態

目指すべき子ども像・求められる学校像

本編 2～4P



今後求められる力を踏まえ、目指すべき子ども像と求められる学校像を教育理念として次のように決めました。

目指すべき子ども像 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 足利っ子」

○具体的な子ども像

- ・目標に向かい、主体的に学ぶ子
- ・多様な価値を認め、共に生きる子
- ・困難を乗り越えられる子
- ・地域社会の一員であることを自覚する子

求められる学校像 「自分のよさや持ち味を、存分に発揮できる学校」

○具体的な学校像

- ・教えるべきことはしっかりと教え、学ぶべきことは根気強く学ばせる学校
- ・児童生徒の姿をしっかりと把握し、認め励ます教育を展開する学校
- ・義務教育9年間を見通し、地域に開かれた中学校区教育(※)を展開する学校

※中学校区教育…中学校区内の小・中学校が義務教育9年間を見通し、系統性、連続性のある教育内容・指導方法を工夫する教育（縦のつながり）。また、学校と家庭・地域とが育てたい子ども像を共有し、一体となって児童生徒たちを育む教育（横のつながり）。これら縦のつながり、横のつながりを重視した教育。

学校教育環境の充実に向けて検討すべき事項

本編 4～5P

目指すべき子ども像、求められる学校像を実現するために特に検討しなければならない事項を決めました。

- 1 教職員の適正な配置
- 2 施設・設備の整備
- 3 学校の適正規模・適正配置
- 4 中学校区教育の推進

今回定めた目指すべき子ども像を児童生徒と向き合うすべてのの方々に共有していただき、学校、家庭、地域、行政が一体となって、その実現に向けて取り組めるよう、より効果的な教育行政を推進してまいります。

「目指すべき子ども像・求められる学校像の実現に向けて」概要版
作成：足利市教育委員会事務局

